



# 少年少女わたしの作品

## 作文

**みず**  
一人、しまらむをた  
木津川市・城山台小1年  
島村 ひなた

**初冬の空**  
五年 土呂本彩莉  
宇治市・御蔵山小5年 吉本 彩莉

**っり**  
三年 大塚千紗子  
中京区・高倉小3年 大塚 千紗子

**宝石**  
六年 比が翔悟  
高島市・今津東小6年 比嘉 翔悟

**う時計**  
四年 小谷莉喜  
湖南省・菩提寺小4年 小谷 莉喜

**万福寿**  
中一 中西 終  
綾部市・綾部中1年 中西 終

### 野菜と読書の秋に

したい！

伏見区・京都聖母学院小4年  
山口 ひびき  
私は、秋といったら「野菜の秋」  
だと思っています。

なぜなら、秋に野菜を食べると  
健康がたもてるし、それによって  
いろいろな楽しいイベントに参加  
できるからです。

他にも、ナスやキノコなど、秋  
においしくなる野菜があるので、  
私は「秋は野菜」という気持ちが  
あります。

お月見などの秋の行事も「秋  
といえば」の印象があります。  
でも、私は野菜の秋がよいと思  
います。

他に、私は「読書の秋」もい  
と思っています。

なぜなら、実際に読書の秋の名  
が出るほど読書がさかんになっ  
ていて、かつ自分も読書が大好きだ  
からです。

このように、私は秋というと「野  
菜の秋」と「読書の秋」という2  
つの秋が思いついて、どちらもす  
ばらしいと思います。

### 口は人をはげまし

感謝するものである

向日市・洛南高付小3年

楠瀬 夕穂

私は、少しいやなことがある  
と、すぐに怒ってしまいます。自  
分でも、そんな性格なのは分か  
っています。それで怒って、相手  
をきずつけて、自分もきずついて  
しまう。

## 詩

**雲**  
山科区・鏡山小6年  
榎谷 葉愛

おーい雲よ  
ゆうゆうとのんきに進んで  
どこへ行く  
どこまで行くんだ  
教えてくれよ  
おーい雲  
行くなら  
ここまでしっかりお帰りよ  
あなたのことは  
しっかり見守ってやるからな  
もみじ

伏見区・桃山小6年

立山 果鈴

きれいだな  
いろいろな  
色があるんだな  
黄色・オレンジ色・赤色  
前まで  
きれいなみどり色だったのに  
秋になると  
きれいな色に成長だ

その後には「人に優しくできれ  
ばいいのに」と思う時があり、  
「少しいやだからって怒らなかつ  
たらいいのに」と思う時もあり  
ます。そういう自分が大きらい。  
人にも優しくできずに、自分には  
優しくかったりする自分が大きらい  
です。

私は、人をはげますことも、感  
謝することも、なんとなくはでき  
ます。もうこれからは、怒ってば  
かりの自分ではなく、「はげまし  
たり、応援をしたり、感謝できる。  
そんな自分になりたい」と、思  
います。

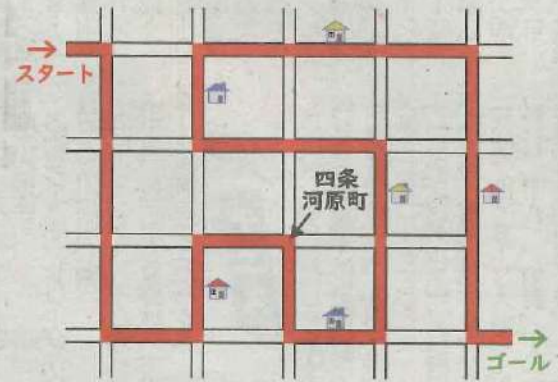
そのために、自分のできること  
をやりたいです。自分がいやなこ  
とを言われても、口に出さずに心  
の中で「いやだな」と思い、人を  
きずつけたりしないようにしたい  
です。

**作品募集** 小、中学生の作文・詩い  
ずれも400字詰め原稿用紙1枚以  
内。および習字(半紙)で、自分の作  
品に限ります。作品には郵便番号、住  
所、氏名、電話番号、学校名、学年を  
書いたメモをのりつけて、〒604  
-8577 京都新聞社文化部「少年  
少女わたしの作品」係へ添削するこ  
ともあります。作品は返却しません。  
採用分には図書カードを贈ります。

## 京大博士 パズル 答え

ウサギのスケルトン  
だぴよん!

「脱走の勢い」  
にけるウサギのように、とて  
も素早いことを表す。



サンタさんは大いそがし